

令和 6 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類：臨床医学Ⅱ

授 業 科 目 名：運動器（筋骨格）（Orthopedics）－整形外科－

対 象 学 年：3 年次 必修

時間割コード：71633007

開 設 学 期 等：第 20 週～第 24 週

単 位 数：2

1. 主任教員

宮 腰 尚 久（教授、整形外科科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

2. 担当教員

宮 腰 尚 久（教授、整形外科科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

森 菜 緒 子（教授、放射線医学講座）

本 郷 道 生（教授、保健学科 理学療法学専攻、6532）

粕 川 雄 司（准教授、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

野 坂 光 司（准教授、整形外科科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

土 江 博 幸（講師、整形外科科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

永 澤 博 幸（医学部講師、整形外科科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

齊 藤 英 知（医学部講師、整形外科科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

木 島 泰 明（医学部講師、整形外科科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

白 幡 毅 士（助教、高度救命救急センター、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

工 藤 大 輔（助教、リハビリテーション科、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

木 村 竜 太（助教、整形外科科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

尾 野 祐 一（助教、整形外科科学講座、6148、オフィスアワー：9：00-17：00）

千 馬 誠 悦（非常勤講師、中通総合病院）

畠 山 雄 二（非常勤講師、秋田赤十字病院）

木 戸 忠 人（非常勤講師、秋田労災病院）

三 澤 晶 子（非常勤講師、秋田県立医療療育センター）

小 林 志（非常勤講師、平鹿総合病院）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【授業のねらい】

運動器系の正常構造と機能を理解し、主な運動器疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。また、関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM について学ぶ。

【概要】

D-4-1 構造と機能

- ・骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。(3-1)
- ・脊柱の構成と機能を説明できる。(3-1)
- ・四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。(3-1)
- ・骨盤の構成と性差を説明できる。(3-1)
- ・骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。(3-1,3-2)
- ・姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。(3-1)
- ・抗重力筋を説明できる。(3-1)

D-4-2 診断と検査の基本

- ・筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査を説明できる。(3-3,4-2)

・筋骨格系画像診断(エックス線撮影、コンピュータ断層撮影(CT)、磁気共鳴画像法(MRI)、超音波検査、骨塩定量)の適応を概説できる。(3-3,5-3)

D-4-3 症候

- ・運動麻痺・筋力低下(3-2,4-2)
- ・関節痛・関節腫脹(3-2,4-2)
- ・腰背部痛(3-2,4-2)

D-4-4(1) 運動器系の一般的疾患

- ・四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。(3-3,4-2,4-3,4-6)
- ・関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,4-2,4-3,4-6)
- ・コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,3-5,4-2,4-3,4-6)
- ・骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。(3-2～3-4,3-7,4-2～4-4,4-8)
- ・関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,4-1～4-3,4-6)
- ・変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,4-2,4-3,4-6)
- ・絞扼性末梢神経障害(手根管症候群、肘部管症候群等)を列挙し、その症候を説明できる。(3-2,3-3,4-2,4-3)
- ・頸椎症性脊髄症(脊柱靱帯骨化症を含む)・頸椎症性神経根症の神経症候を説明できる。(3-1～3-3,4-1～4-3)
- ・脊髄損傷の診断・治療を説明できる。(3-1～3-7,4-1～4-4)
- ・腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。(3-2～3-4,4-1～4-3)
- ・腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。(3-2～3-4,4-1～4-3)
- ・腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。(3-2～3-4,4-1～4-3)
- ・運動器慢性疼痛(腰背部痛、頸部痛、肩こり)の病態、診断と治療を説明できる。(3-2～3-4,4-1～4-4)
- ・運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。(3-3,3-4,4-3,4-4)

D-4-4(2) 感染性疾患

- ・化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,4-1～4-3,4-6)
- ・椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエスの症候、診断と治療を説明できる。(3-2,3-3,4-1～4-3,4-6)

D-4-4(3) 腫瘍性疾患

- ・原発性骨腫瘍(骨肉腫、Ewing 肉腫)の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。(3-2～3-4, 3-7,4-2～4-4,4-7)
- ・転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。(3-2～3-4,4-1～4-4)
- ・悪性軟部腫瘍(脂肪肉腫)の診断、病理所見、治療を概説できる。(3-3,3-4,4-1～4-4)

関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて説明できる。(1-1,1-2,2-1～2-8,3-6,4-8,5-1～5.5,6-1,6-2)

4. 教科書・参考書

医学書院：標準整形外科学 第14版

5. 成績評価の方法

形成試験、出席

形成試験は、得点率 60%以上を合格とします。

講義回数の 3 分の 2 以上の出席がない場合は、3 年次統一試験の受験資格を得られません。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

実際の講義について使用教室が変更となる場合もありますので、ご協力をお願いします。

講義を受ける前に指定された教科書、参考書の該当箇所を予習してくる。

講義が終わった後、配布資料を見ながら復習すること。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	9月24日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：整形外科総論 整形外科の扱う分野を理解し、その項目を説明できる。 D-4-1 構造と機能 D-4-2 診断と検査の基本 D-4-3 症候 D-4-4 疾患	宮腰尚久	医学系研究棟4階6講義室
2	9月24日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：脊椎診察法 脊椎診察の方法と解釈を説明できる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-3 運動麻痺・筋力低下	本郷道生	医学系研究棟4階6講義室
3	9月24日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：四肢診察法 四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 D-4-1 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 D-4-1 抗重力筋を説明できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-3 関節痛・関節腫脹 D-4-4(1) 四肢外傷の診断と初期治療を説明できる。	齊藤英知	医学系研究棟4階6講義室
4	9月24日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：変形性関節症 変形性関節症を列挙し、症候と治療を説明できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 関節痛・関節腫脹 D-4-4(1) 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 運動器慢性疼痛の病態、診断と治療を説明できる。	木島泰明	医学系研究棟4階6講義室
5	9月24日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：骨系統疾患 代表的骨系統疾患について成因・診断・治療法を概説できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。 D-4-1 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。 E-7-3 成長に関わる主な異常を列挙できる。	土江博幸	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
6	9月30日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：下肢・骨折 1) 変形性関節症を列挙し、症候と治療を説明できる。 2) 関節炎の原因と治療を説明できる。 3) 下肢コンパートメント症候群を概説できる。 D-4-3 関節痛・関節腫脹 D-4-4-(1) 四肢外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4-(1) 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。 D-4-4-(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(2) 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。	野坂光司	医学系研究棟4階6講義室
7	9月30日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：膝関節 1) 膝関節の骨、軟骨、関節、靱帯の構造と機能を説明できる。 2) 膝関節の主要筋群の運動と役割を説明できる。 3) 膝関節の関節可動域、理学所見のとり方を説明できる。 4) 膝関節疾患の病態を説明できる。 5) 変形性膝関節症の病態、症候、治療を説明できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。 D-4-1 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-3 関節痛・関節腫脹 D-4-4-(1) 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。 D-4-4-(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(2) 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。	齊藤英知	医学系研究棟4階6講義室
8	9月30日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：関節リウマチ 1) 関節炎を生じる多くの疾患の中から、関節リウマチの病態の違いを説明できる。 2) 関節炎が持続することによる関節障害を理解できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 関節痛・関節腫脹 D-4-4-(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 E-4-3-(2) 関節リウマチの病態生理、症候、診断、治療とリハビリテーションを説明できる。 E-4-3-(2) 関節リウマチの関節外症状を説明できる。	小林 志	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
9	9月30日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：足関節 1) 足関節の骨、軟骨、関節、靱帯の構造と機能を説明できる。 2) 足関節の主要筋群の運動と役割を説明できる。 3) 足関節の関節可動域、理学所見のとり方を説明できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。 D-4-1 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 D-4-1 抗重力筋を説明できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-3 関節痛・関節腫脹 D-4-4-(1) 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。 D-4-4-(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(2) 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。	野坂光司	医学系研究棟4階6講義室
10	9月30日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：骨代謝 骨代謝を理解し、骨粗鬆症とくる病・骨軟化症の病態の違いを説明できる。 D-4-1 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。 D-12-1 副甲状腺(上皮小体)から分泌されるホルモンの作用と分泌調整機構を説明できる。 D-12-4-(3) カルシウム代謝の異常を疾患と関連付けて説明できる。 D-12-4-(3) 副甲状腺機能亢進症と副甲状腺機能低下症の病因、病態、症候と診断を説明できる。 D-12-4-(3) 偽性副甲状腺機能低下症を概説できる。	宮腰尚久	医学系研究棟4階6講義室
11	10月1日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：骨折・脱臼総論、上肢疾患 1) 骨折の分類と骨折の合併症を説明できる。 2) 上腕骨から舟状骨までの解剖を理解し、骨折の特徴と治療法を説明できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。 D-4-4-(1) 四肢外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4-(1) 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。 D-4-4-(1) コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 絞扼性末梢神経障害を列挙し、その症候を説明できる。	千馬誠悦	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
12	10月1日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：末梢神経 1) 末梢神経損傷の分類と診断方法を説明できる。 2) 橈骨神経損傷、正中神経損傷、尺骨神経損傷、腕神経叢損傷の診断、治療を説明できる。 D-2-1-(2) 神経叢の構成及び主な骨格筋支配神経と皮膚分布を概説できる。 D-2-4-(5) 主な神経障害性疼痛を概説できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-3 運動麻痺・筋力低下 D-4-4-(1) 絞扼性末梢神経障害(手根管症候群、肘部管症候群等)を列挙し、その症候を説明できる。	千馬誠悦	医学系研究棟4階6講義室
13	10月1日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：運動器疾患の画像診断 D-4-2 筋骨格系画像診断(エックス線撮影、コンピュータ断層撮影(CT)、磁気共鳴画像法(MRI)、超音波検査、骨塩定量)の適応を概説できる。	森 菜緒子	医学系研究棟4階6講義室
14	10月1日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：良性骨腫瘍・骨腫瘍類似疾患 1) 良性骨腫瘍の好発部位、好発年齢、治療を説明できる。 2) 代表的な骨腫瘍類似疾患について病態を説明できる。 D-4-1 骨・軟骨の構成と機能を説明できる。 D-4-1 骨の成長を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4-(3) 原発性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。	永澤博幸	医学系研究棟4階6講義室
15	10月1日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：悪性骨腫瘍 原発性悪性骨腫瘍の疫学・病理所見・治療法を概説できる。 C-4-6 腫瘍の分類、分化度、グレード、ステージを概説できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4-(3) 原発性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。	土江博幸	医学系研究棟4階6講義室
16	10月7日 (月)	1-2 時限	講義	テーマ：小児股関節疾患 代表的な小児の股関節疾患を列挙し、症候と治療を説明できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。 D-4-1 骨盤の構成と性差を説明できる。 D-4-1 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-3 関節痛・関節腫脹 D-4-4-(1) 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。 D-4-4-(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(2) 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。	木島泰明	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
17	10月7日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：成人股関節疾患 代表的な成人の股関節疾患を列挙し、症候と治療を説明できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。 D-4-1 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 D-4-1 骨盤の構成と性差を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を説明できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-3 関節痛・関節腫脹 D-4-4(1) 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。 D-4-4(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4(2) 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。	木島泰明	医学系研究棟4階6講義室
18	10月7日 (月)	5-6 時限	講義	テーマ：手 手指の構造を理解し、手指外傷に対する麻酔法、手術療法について説明できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。 D-4-4(1) 四肢外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4(1) 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。 D-4-4(1) コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4(1) 絞扼性末梢神経障害を列挙し、その症候を説明できる。	白幡毅士	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
19	10月7日 (月)	7-8 時限	講義	テーマ：肩関節 肩関節の解剖を理解し、代表的な疾患を診断できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 関節痛・関節腫脹 D-4-4-(1) 四肢外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4-(1) 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。 D-4-4-(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(2) 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。	畠山雄二	医学系研究棟4階6講義室
20	10月7日 (月)	9-10 時限	講義	テーマ：腰椎 腰椎の構造を理解し、腰椎の主な変性疾患と外傷を説明できる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 腰背部痛 D-4-4-(1) 脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4-(1) 腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 運動器慢性疼痛の病態、診断と治療を説明できる。	工藤大輔	医学系研究棟4階6講義室
21	10月8日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：脊髄腫瘍 1) 代表的な脊髄腫瘍を説明できる。 2) 脊髄腫瘍の診断を説明できる。 D-2-4-(10) 主な脊髄腫瘍の分類と好発部位を説明し、病態を概説できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 運動麻痺・筋力低下 D-4-3 腰背部痛	粕川雄司	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
22	10月8日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：胸椎 胸椎疾患を列挙し、その診断と治療を説明できる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 運動麻痺・筋力低下 D-4-4-(1) 脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4-(1) 運動器慢性疼痛の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。	本郷道生	医学系研究棟4階6講義室
23	10月8日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：頸椎 頸椎の構造を理解し、頸椎の主な変性疾患と外傷を説明できる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 頭頸部の構成を説明できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 運動麻痺・筋力低下 D-4-4-(1) 脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4-(1) 頸椎症性脊髄症(脊柱靱帯骨化症を含む)・頸椎症性神経根症の神経症候を説明できる。 D-4-4-(1) 運動器慢性疼痛の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。	宮腰尚久	医学系研究棟4階6講義室
24	10月8日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：脊柱変形 小児および成人の脊柱変形に関して、病態および治療法を説明できる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 腰背部痛 D-4-4-(1) 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。	本郷道生	医学系研究棟4階6講義室
25	10月8日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：脊椎感染症 脊椎感染症の病態を理解し、化膿性脊椎炎と結核性脊椎炎の違いを説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 運動麻痺・筋力低下 D-4-3 腰背部痛 D-4-4-(2) 椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエスの症候、診断と治療を説明できる。	宮腰尚久	医学系研究棟4階6講義室
26	10月15日 (火)	1-2 時限	自主学习	テーマ：		医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
27	10月 15日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：療育と整形外科 障害児医療に対する整形外科の役割を理解し、療育の概念を説明できる。 B-1-8 障害者福祉の現状と制度を説明できる。 D-4-1 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-1 抗重力筋を説明できる。 D-4-4-(1) 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。	三澤晶子	医学系研究棟4階6講義室
28	10月 15日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：脊椎外傷 1) 脊柱と脊髄の解剖や機能を把握できる。 2) 脊椎・脊髄外傷の分類と治療や予後に関して基本的な考え方を理解する。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 運動麻痺・筋力低下 D-4-4-(1) 脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4-(1) 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。 D-4-4-(1) 脊髄損傷の診断、治療を説明できる。 D-4-4-(1) 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。	木戸忠人	医学系研究棟4階6講義室
29	10月 15日 (火)	7-8 時限	講義	テーマ：転移性骨腫瘍・軟部腫瘍 1) 骨転移メカニズムを説明できる。 2) 転移性骨腫瘍に対する整形外科の治療法を概説できる。 3) 代表的な軟部腫瘍について画像所見・治療法を概説できる。 C-4-6 癌の転移を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4-(3) 転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。 D-4-4-(3) 悪性軟部腫瘍の診断、病理所見、治療を概説できる。	永澤博幸	医学系研究棟4階6講義室
30	10月 15日 (火)	9-10 時限	講義	テーマ：転移性脊椎腫瘍 1) 転移性脊椎腫瘍の好発部位を説明できる。 2) 転移性脊椎腫瘍を好発する原発巣を説明できる。 3) 転移性脊椎腫瘍の診断や治療法を説明できる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 C-4-6 癌の転移を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 運動麻痺・筋力低下 D-4-4-(3) 転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。	粕川雄司	医学系研究棟4階6講義室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
31	10月21日(月)	1-2 時限	講義	テーマ：特発性骨壊死症 代表的な特発性骨壊死の疾患を列挙し、症候と治療を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4-(1) 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。	木島泰明	医学系研究棟4階6講義室
32	10月21日(月)	3-4 時限	講義	テーマ：関節鏡下手術 1) 日本が関節鏡発展に寄与した業績を説明できる。 2) 関節鏡における骨、軟骨、半月板、関節唇、関節包、靱帯およびその機能を説明できる。 3) 関節鏡下手術について説明できる。 D-4-1 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-4-(1) 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(2) 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。	齊藤英知	医学系研究棟4階6講義室
33	10月21日(月)	5-6 時限	講義	テーマ：脊椎疾患手術療法 各種脊椎疾患の手術療法について、適応と合併症を説明できる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-3 運動麻痺・筋力低下 D-4-3 腰背部痛 D-4-4-(1) 腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。 D-4-4-(1) 腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。	木村竜太	医学系研究棟4階6講義室
34	10月21日(月)	7-8 時限	講義	テーマ：脊髄損傷 1) 脊柱と脊髄の解剖機能を把握できる。 2) 脊髄損傷の病態と治療や予後に関して基本的な考え方を理解する。 3) 脊髄損傷に対するリハビリテーションを説明できる。 D-4-1 脊柱の構成と機能を説明できる。 D-4-1 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 D-4-2 筋骨格系の病態に即した徒手検査を説明できる。 D-4-2 筋骨格系画像診断の適応を概説できる。 D-4-3 運動麻痺・筋力低下 D-4-4-(1) 脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。 D-4-4-(1) 脊髄損傷の診断、治療を説明できる。 D-4-4-(1) 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。	工藤大輔	医学系研究棟4階6講義室
35	10月21日(月)	9-10 時限	試験	テーマ：形成試験		医学系研究棟4階6講義室